

鼻口センサ

【禁忌・禁止】

<使用方法>

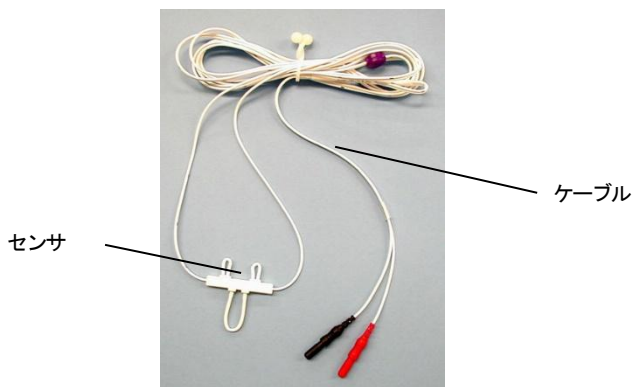
- ・本品のケーブルは、首に巻きつかないように配置すること。
[窒息のおそれがあるため。]
- ・生命維持等の環境下や、無呼吸モニタとして使用しないこと。
[本品は診断を目的として使用されるものであるため。]

<併用医療機器>「相互作用の項参照」

- ・可燃性麻酔ガス及び高濃度酸素雰囲気内で使用しないこと。
[爆発又は火災をおこすことがあるため。]
- ・高圧酸素治療装置と併用しないこと。[爆発又は火災をおこすことがあるため。]
- ・磁気共鳴画像診断装置 (MRI) と併用しないこと。[誘導起電力により局所的な発熱で患者が熱傷を負うことがあるため。]
- ・除細動器と併用しないこと。[熱傷を生じさせることや機器が破損する恐れがあるため。]
- ・電気手術器 (電気メス) と併用しないこと。[電気メスからの電流が電極に流れ、熱傷を生じることがあるため。]

【形状・構造及び原理等】

<外観>



センサ: ゴムコーティング、ホワイト TPE

<仕様>

注文番号: 1401 (成人～小児用)
ケーブル: 白色リード線 (外径 2mm、長さ 1900mm)
センサ: ゴム・コーティング・フレキシブル・プローブ
口腔用 (1 プローブ) および鼻腔用 (2 プローブ)
センサタイプ: サーマカップル
ジャックピン: 1.5 mm セイフティ DIN タイプ
フィルタ設定: 高域=15 Hz; 低域=0.1 Hz
ゲイン: 出力範囲は±100 μ V
出力信号: 0.1mV
インピーダンス: <10 Ω
(センサは、各プローブ表面の突起部分であり、はずれたり壊れたりするようなビーズは付いていない。また、電極ジャックボックスに直接差し込み、外部電源は必要としない。)

<包装>

	品 名	型 式	袋
**	鼻口センサ	1401	1 個

<作動・動作原理>

サーモカップル

二種類の金属で回路をつくり、その二つの接合点を異なる温度に保つと熱起電力が生じ電流が流れる「ゼーベック効果」の原理を利用した温度センサで、気流による温度変化で呼吸気流を測定する。

【使用目的又は効果】

<使用目的>

終夜睡眠ポリグラフィーによる睡眠時呼吸障害検査において生体信号装置に記録する呼吸気流を検出する。

【使用方法等】

・センサの装着

センサは、プローブが必ず最大気流に当たる位置にセンサを装着する。センサプローブは柔軟で簡単に曲がるので、確実に気流の通り道に位置するように調整する。プローブが肌に触れると信号振幅が減衰するので、肌に触れないようにすること。カニューレスタイルの気流センサは、酸素カニューレと同じような方法で患者に装着する。スライディング・シンチ・チューブと外科用テープを使って、しっかりと装着すること。センサは電極ジャックボックスに直接差し込み、外部電源は必要としない。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- ・電極、センサは常に清掃、消毒を行い、清潔にしておくこと。[電極、センサを介して感染する可能性があるため]
- ・感度はプローブの装着場所、患者の呼吸気流状態、室温、CPAP 圧などによって異なる。
- ・鼻口センサをジャックボックスから引き抜くときは、安全プラグをしっかりとつかんで引くこと。ケーブルを強く引いて破損した場合、本保証の対象外であり、修理不可能である。

<相互作用 (医薬品・医療機器等との併用に関すること) >

併用禁忌 (併用しないこと)

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
磁気共鳴画像診断装置 (MR 装置)	併用禁止	誘導起電力により局所的な発熱で患者が熱傷を負うことがある。
高圧酸素患者治療装置	併用禁止	爆発又は火災をおこすことがある。
可燃性麻酔ガス及び高濃度酸素雰囲気内での使用	併用禁止	爆発又は火災をおこすことがある。
除細動器	併用禁止	熱傷を生じさせることや機器が破損する恐れがある。
電気手術器 (電気メス)	併用禁止	電気メスからの電流が電極に流れ、熱傷を生じることがある。

【保管方法及び有効期間等】

使用環境条件

温度範囲 10～30℃
湿度範囲 10～90% (結露なきこと)

保管環境条件

温度範囲 -10～+50℃
湿度範囲 10～90% (結露なきこと)

使用期間: 5 年以内 (使用頻度による)

[外国製造業者の規格による。]

【保守・点検に係る事項】

<使用者による保守点検事項>

適切な動作を保持するために、ケーブル接続をチェックすること。

クリーニング及びその注意事項

- ・本センサは再利用できるように設計されているため、プラスチック腐蝕性でない洗浄液を使用して拭くこと。
- ・患者の安全性確保のため、部品全体を完全に乾かしてから使用すること。
- ・滅菌する場合は、ガス滅菌の標準的手順に従うこと。
- ・高圧蒸気滅菌はしないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

*製造販売業者：

株式会社フクダ産業

電話番号：04-7147-1622(代)